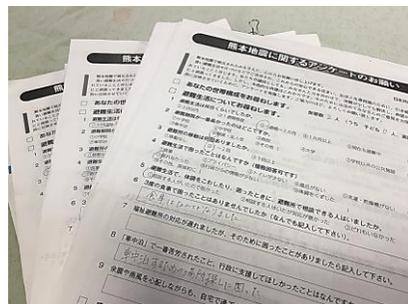


# 寄せられた声を議会へ届け、国や県へも要請

熊本地震に関する市民アンケートへのご協力ありがとうございました

市内10万世帯に配布した熊本地震に関する市民アンケートの回答が続々と寄せられています。ご協力いただいた方々に心よりお礼申し上げます。寄せられた切実な願いや声を、市議会で取り上げてきたほか、国や県に対しても要請を行ってきました。引き続き、一日も早い生活や生業の再建が果たせるよう力を尽くす決意です。



## アンケート結果のご紹介 復旧・復興に向け望むことはなんですか？

最も多かった要望は「安心な住宅の確保」でした。一方、大西市長が復興計画に位置付けたMICE施設を望む声は、26項目中最下位で、わずか6人という結果でした。

1. 安心して暮らせる住宅の確保… 311人
2. 道路や橋の復旧… 290人
3. 避難所となる学校や公共施設の整備… 229人
4. 医療費、国保や介護の保険料の減免の延長… 220人
5. 学校施設の復旧・耐震化… 200人
6. 熊本城の復旧… 180人
7. 屋根の修繕への支援… 177人
8. 心的ストレスを受けた子どもや高齢者等へのケア… 173人
9. 市民病院の早期再開… 141人
- ⋮
26. 再開発・MICE施設… 6人

日本共産党 市議会だより

発行：日本共産党熊本市議団

上野みえこ なすまどか 山部ひろし

熊本市中央区手取本町1-1 3階

NO. 1022  
2016年11月13日  
電話 328-2656  
FAX 359-5047

メール：kumamsu@gamma.ocn.ne.jp  
HP：http://www.jcp-kumamoto.com/

# MICE（熊本城ホール）整備を中止し 住家の再建や修繕への支援拡充を！

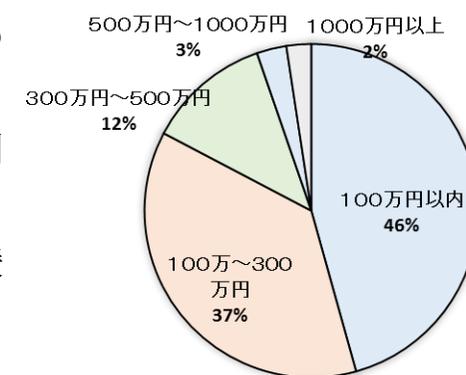
熊本地震の大きな特徴は、建物への被害の大きさです。熊本市内の家屋等の被害総額は1兆2000億円を大きく超えています。

全壊や大規模半壊世帯への生活再建支援金の増額とともに、一部損壊世帯への支援制度が求められます。

熊本市独自の上乗せや支援策を実現するためにも、MICE

C E整備計画を中止し、住家の再建や修繕への支援に力を入れるべきです。

一部損壊世帯の修繕費用



一部損壊でも、5割以上の方が修繕に100万円以上かかると回答

## 弁護士による「無料法律相談」のご案内

毎月定例の無料法律相談です。震災に関わる法律相談も含め、ぜひご利用ください。日程は下記のとおりです。どなたでもご利用できます。「事前予約制」となっていますので、ご希望のところへ予約の電話をお願い致します。

- 11月16日（水） 午後2時～4時  
中央区生活相談所（大江5-15-20） Tel 375-2200
- 11月22日（火） 午後4時～6時  
東区生活相談所（広木町7-23-2） Tel 328-2656
- 11月24日（木） 午後1時30分～4時  
山本のぶひろ渡鹿生活相談所（渡鹿6-5-60） Tel 362-5181
- 11月25日（金） 午後6時～8時  
北区生活相談所（武蔵ヶ丘1-10-1） Tel 338-2001
- 12月8日（木） 午後1時～4時 予定  
菜の花法律事務所（南区江越1-17-12） Tel 322-2600

# 長時間の叱責・脅し・脅迫等で不当な要求実現を迫る

「熊本市不当要求行為等防止対策会議」は、北口和皇議員にかかる 27 件の事案を「不当要求行為等」と断定

11月4日の議会運営委員会に、政治倫理審査会の勧告と合わせて、「熊本市不当要求行為等対策会議」が行った「議員等からの不当要求行為等に相当する案件についての調査」報告書が提出されました。全部で 28 件の対象事案のうち 27 件が北口和皇議員についてのものでした。

長年にわたり、不当なやり方で職員にさまざまな要求を迫ってきた北口議員の姿勢とやり方は厳しく問われなければなりません。

## ＜事案の内容＞ 議員の力を背景に圧力をかける方法を繰り返す

- 環境局実施の過去の調査で検査結果の改ざんがあった旨の発言をし、必要性の乏しい江津湖の水質検査を要請。
- 水前寺江津湖公園利活用計画策定に向けたアンケートを、事前説明がない・熊本市漁協（北口議員が組合長）を他団体と同じ扱いをしたことに激怒し、協力せず、未実施に。
- 熊本市漁協（北口議員が組合長）が受注する業務の委託費が安いことに立腹、2時間のクレーム電話。江津湖底質調査も妨害。職員へ外来魚の腹部切開作業を強要。市漁協の同意を得ようとした際、関係団体への便宜等を要求。
- 江津湖の問題で予算の増額や特定業者への便宜を要望し、職員を長時間叱責。
- パチンコ店建設現場からの白濁水に異常なしの報告をしたが職員を叱責、種々の要求を強要。
- 画図地区の排水路工事で、当該地区の選挙応援がなかったことを理由に工事中止を要請。
- 北口議員が海外派遣に急遽加わった新聞記事に立腹。当日予定の水路設計事前説明会を妨害。
- 画図地区排水路工事説明会を妨害、年度内予算執行見送り。
- J A熊本市や同女性部への補助金への便宜を要請。
- 一般的に貸出ししない施設を議員所属の団体が借受け使用。

## 執行部の責任も明確にすべき（政治倫理審査会・懇談会の意見）

北口議員の行為について、「政治倫理審査会・懇談会」は、「北口議員は案件を議会ではなく、直接執行部に持込み、議員の力を背景に圧力かけ解決する方法で活動、繰り返してきた。すぐ感情的になり、場当たりの叱責、上下関係があるかのような対応が多い。公私混同、手法も正当と言えず、公益を図る動機も感じられない。不当要求との認識もない」と厳しい意見を述べました。

「執行部や議会が北口議員の行為を許してきたことが多くの問題を発生させてきた」と指摘されているように、特に副市長や局長クラスが不当な要求に正しく対応しなかったことで、課長・補佐等、現場職員が長期に苦慮しており、執行部の責任も明確にすべきです。



- 全国高校選抜自転車競技大会報道のための番組制作料を議員と親しいテレビ局へ予算化するよう要望。来賓参加した開会式で、大声で職員を叱責。
- 法に基づく境界調査の協力を土地改良区（北口議員が役員）で拒否、未実施に。（予算を減額）
- 水路払下げ「不可」の事案に、議員が相談を受け、審査の過程で職員を不当に 20 名も集め長時間の乱暴な言動を繰り返す。
- 民間診療所の増床を要望し、執拗に報告を求めた。
- 地元校区の交通指導員委嘱替えで、自分が指導員になると主張し、自治会長の立場で同意せず、指導員が 2 年間不在に。
- 職員を自らの部下のように使うことが常態化、熊本城マラソンでも民間団体に職員を動員。
- 競輪事業で、北口議員と親しい関係者の名を関した大会の開催を要望。断ると立腹・叱責。